

事前評価調書

I 事業概要																																																	
事業名	街路事業																																																
地区名	都市計画道路 <small>きたおわりちゅうおうどう</small> 北尾張中央道																																																
事業箇所	一宮市 <small>はぎわらちよう</small> 萩原町																																																
事業のあらまし	<p>本路線は、名古屋圏の周辺都市である一宮市と春日井市を結ぶ環状道路の役割を担う重要な幹線道路である。また、当該事業区間は、国道 155 号と主要地方道大垣一宮線を結び、尾張西部地域の重要な南北軸を担う区間の一部となっている。</p> <p>しかしながら、当該事業区間の現道（一般県道萩原三条北方線）は歩道が整備されていない上、車両のすれ違いが困難なほど狭く危険な状況であることから、当地域の交通の円滑化を図り、安全な歩行空間を確保するためにも、当該事業区間の一刻も早い整備が求められている。</p> <p>このため、「尾張西部地域の南北方向の交通円滑化」「交通安全対策の強化」を主な目的として、バイパス整備を実施するものである。</p>																																																
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 尾張西部地域の南北方向の交通円滑化</p> <p>② 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																																
事業費	事業費		内訳																																														
	9.8 億円		□工事費 1.1 億円、□用補費 6.1 億円、□その他 2.6 億円																																														
事業期間	採択予定年度	2021 年度	着工予定年度	2021 年度	完成予定年度	2027 年度																																											
事業内容	バイパス整備 (延長：L=300m、車線数：4 車線、幅員：W=23.0～26.0m)																																																
II 評価																																																	
① 事業の必要性	1) 必要性	<p>① 尾張西部地域の南北方向の交通円滑化</p> <p>当該区間の現道の県道萩原三条北方線は、歩道がなく車両のすれ違いも困難な非常に狭い道路であるものの、混雑度が 1.31 (H27 道路交通センサス) と慢性的な渋滞が発生しており、交通の円滑化が求められている。</p> <p>② 交通安全対策の強化</p> <p>近隣に萩原小学校があり、現状は当該事業区間の狭い現道を通学路としている危険な状況である。</p> <p>また、沿道には住居等が連立しており、歩行者等の通行が多い。</p>																																															
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>当該事業区間を整備することで尾張西部地域の南北方向の交通円滑化及び交通安全対策の強化が図られるため、事業実施の必要性が高い。</p>																																														
② 事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費 (億円)</td> <td colspan="3">9.0</td> <td colspan="2">0.8</td> <td colspan="2"></td> <td>9.8</td> </tr> </tbody> </table>						2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種区分	調査・設計	←							用地補償			←					工事					←			事業費 (億円)	9.0			0.8				9.8
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																								
工種区分	調査・設計	←																																															
	用地補償			←																																													
	工事					←																																											
事業費 (億円)	9.0			0.8				9.8																																									

	2) 地元の合意形成	地元自治体からの早期整備の要望もあり、当該事業箇所への問題意識も高く、地元の合意形成が図られている。	
	判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
		【理由】 地元の合意形成が図られていることから、事業の実効性が確保されている。	
III 対応方針			
事業実施が妥当である	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。		
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容			
<p>■対象（事業完了後 5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>周辺道路における事業実施前後の交通状況の変化と歩行者等の安全性の変化</p>			